

# 次の感染の波に備えた医療提供体制整備

## 「早期検査」「早期入院」「早期治療」の鳥取方式の徹底

- 病院への検査機器の導入を引き続き支援 ⇒ **最大6,250検体/日**へ増強
- 入所型の社会福祉施設に**抗原簡易キットを配布**、迅速検査でより早期に囲い込み
- 陽性者は全員入院してメディカルチェックを実施
- 救急や一般医療との両立を図りながら、**コロナ患者用の即応病床を機動的に確保**

4月1日	4月9日～	4月12日～	4月19日～	4月26日～	5月7日～	6月7日～
204床	208床	228床	237床	265床	267床	259床

- 患者急増時を想定し、**最大確保病床のさらなる拡大について医療機関と協議**

令和2年7月	令和3年2月～	令和3年4月～	令和3年5月～
313床	317床	321床	<b>323床</b> ⇒ さらに増加へ

- 引き続き入院が必要な回復患者は**後方支援病院へ転院**  
⇒ **6月中を目途に後方支援病院の対応条件等について圏域内の病院間で情報共有**
- **圏域ごとに宿泊療養施設を設置**

地区	東部	中部	西部	合計
部屋数	66室	35室	40室	141室

- 入院加療後、主治医が宿泊療養可能と判断した患者は宿泊療養施設へ移行  
⇒ 看護師の24時間常駐による健康サポート、医師の毎日の往診とオンライン診療
- 住み慣れた環境で療養することが望ましいかたの**在宅療養体制整備を促進**（※メディカルチェックは全員実施）  
⇒ <7月1日スタート> 電話やオンラインによる健康観察、24時間オンコール対応（訪問看護ステーション等に委託）

診療・検査医療機関数  
[人口対比] **全国トップ**  
(309機関/R3.6.2現在)

[人口対比] **一日最大検査能力 全国トップ**  
(6,250検体/R3.5.14現在)

陽性率の低さ  
**全国トップ**  
(0.6%/R3.6.5までの累計)

[人口対比] **最大確保病床数 全国トップ**  
(323床/R3.6.2現在)